

生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくりま

スポーツ健康都市宣言にふさわしい、スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまちをつくりま



ユニバーサル駅伝（平成25年9月）

5年後のめざす姿

- 区民がスポーツを通じて国際交流を進めています。
- 区民が日常的にスポーツに親しむことで、健康維持・推進が図られています。
- 区民が、身近な地域で、スポーツに参加するための環境が整備されています。

これまでの成果

- スポーツによる健康づくりへの意識が高まる中、区民のスポーツ活動への支援として、区民が、自らスポーツ活動を選択し、参加できるよう、情報提供と相談援助を実施してきました。
- スポーツ活動の拠点として大田区総合体育館を開設したほか、区民が身近にスポーツに親しみ、交流を図ることができる場として総合型地域スポーツクラブ*1の設立支援に力を入れてきました。平成23年には区内で二番目となる総合型地域スポーツクラブが調布地区に設立されました。
- 今後一層スポーツによる健康づくりを進めるために、「おおた健康プラン」やスポーツ基本法の理念に沿った「大田区スポーツ推進計画」を策定し、平成24年6月30日には、区民がスポーツを通じて健康で豊かに暮らし、まちがにぎわいと活力を増していくことを願い、「スポーツ健康都市宣言」を行いました。
- こうした区による取り組みや、区民の余暇時間の増加、健康づくりに対する意識の高まりもあり、定期的にスポーツをする区民の割合は平成20年と25年を比較すると4.6ポイント増加しています。

現状と課題

- 子どもの体力向上、成人の健康保持、高齢者の健康維持と体力維持など、健康づくりに対する区民の意識はますます高まっています。平成23年にスポーツ基本法が施行され、区にも世代の違いや障がいの有無にかかわらず、各地域の実情に即したスポーツの推進が求められるようになりました。
- 地域力を活かし多様な担い手がそれぞれの役割を果たす中で、区民が地域でスポーツを楽しみ、健康につながる仕組みを構築し、広げることが重要です。特に、区民自らが主体となって運営する地域スポーツクラブ*の育成は、地域スポーツの推進に大きく寄与するものであり、多くの区民が利用できるようクラブ数を増やしていくことが求められます。
- 大田区総合体育館や大田スタジアムなどのスポーツ施設は、「する」「みる」「支える」の3つの視点に立って魅力的な整備・運営を進める必要があります。
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催は、区民への多様なスポーツの普及に寄与するとともに、国際交流を育む絶好の機会です。世界共通の文化であるスポーツを通じた国際交流により、諸外国との相互理解を促進し、「国際都市おおた」を実現することが課題です。

指標に注目!

◆めざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値

モノサシ(指標)	未来プラン策定時の「現状」	25年度		30年度
		中間目標	最新値	目標値
週1回以上スポーツ活動をしている区民の割合(%)	36.6% (平成20年度)	45%	41.2% (平成25年度)	65%

施策の体系

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

スポーツ健康都市宣言にふさわしい、スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまちをつくりま

1 スポーツの力で推進する国際交流

■東京オリンピック・パラリンピック関連事業

- スポーツを通じた国際交流
 - ↳大田区総合体育館の活用、国際試合の誘致など

2 スポーツでいきいき健康に暮らせるまちづくり

- 子どもの体力向上
 - ↳体力向上プログラム、中学生「東京駅伝」大会・小学生駅伝大会、部活動の充実など
- 成人の健康保持
 - ↳スポーツ教室の拡充、生活習慣病予防教室、インターネット*を活用した健康教育など
- 高齢者の健康と体力維持
 - ↳いきいき公園体操、テーマ別介護予防教室、寿教室、高齢者スポーツ教室など
- 障がい者のスポーツ推進
 - ↳自立訓練事業、障がい者スポーツ指導者の養成、障がい者スポーツ教室の拡充など

■自主的な健康づくり支援の推進(再掲1-2-1)

3 地域力を活かしたスポーツ振興

■総合型地域スポーツクラブ*の設立・運営支援

- スポーツ指導者の育成
 - ↳スポーツ指導者養成講座、スポーツ指導者派遣制度など

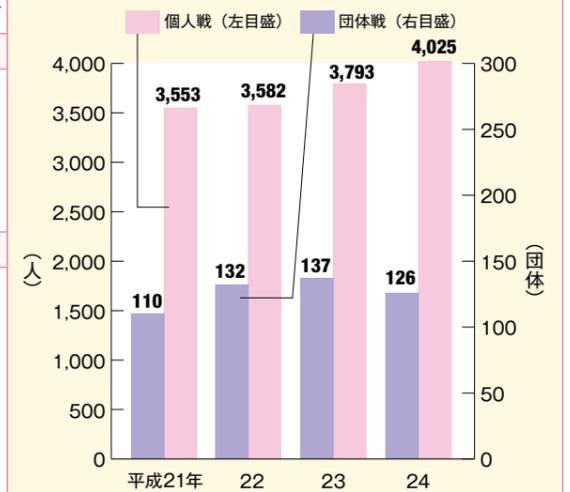
■スポーツ施設の整備・充実

- スポーツ施設の有効活用
 - ↳施設設備の改善、施設の運営方法の検討、学校施設の活用など
- スポーツ関連情報の発信
 - ↳インターネットなどによる効率的な情報の提供

■新スポーツ健康ゾーンの整備(再掲2-2-2)

参考データ

▶区民スポーツ大会における小中学生の参加数



*1 地域スポーツクラブ

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、多世代、多種目、多志向という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。

施策の方向性と主な事業

1 スポーツの力で推進する国際交流

羽田空港を抱え、世界への玄関口である大田区の地域特性を活かし、国際試合の開催を積極的に推進します。東京オリンピック・パラリンピック成功の気運を醸成しスポーツの普及に努めます。

主な事業

東京オリンピック・パラリンピック関連事業

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に向け、国際都市、観光、ユニバーサルデザイン*・バリアフリー*などの取り組みを一層強化し、大会の成功をめざすとともに、さらなる気運醸成に取り組んでいきます。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
大田区総合体育館を活用した国際試合の開催	推進				拡充	継続
東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に向けた気運醸成	企画・準備	実施				継続



平成24年6月にオープンした大田区総合体育館



アリーナでの国際試合の様子

2 スポーツでいきいき健康に暮らせるまちづくり

健康で豊かに暮らせるまちづくりのために、子どもから高齢者まで、健康、体力の維持向上を目的に、自分にあった運動やスポーツに親しむことができるよう支援していきます。

主な事業

自主的な健康づくり支援の推進 (再掲1-2-1)

3 地域力を活かしたスポーツ振興

区民がスポーツや健康づくりに親しみをもち、主体的に取り組むとともに、コミュニティ*づくりや地域の活性化にもつながるよう、「する」「みる」「支える」の3つの視点に立って環境づくりを進めます。

主な事業

総合型地域スポーツクラブ*の設立・運営支援

地域スポーツクラブ*を生涯スポーツの振興と地域のコミュニティ*の担い手として位置づけ、その設立と安定した運営のために支援を拡充します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
設立・運営支援						継続
地域スポーツクラブ*と協力したスポーツ事業の開催						継続
地域スポーツクラブ*指導者養成講習会						継続

スポーツ施設の整備・充実

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催決定により、区民のスポーツ参加の意識が高まることが予想されます。既存公園などの運動施設を有効活用できるよう、施設の整備・充実を図ります。

調布地区への体育館整備に向けた取り組みを進めます。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
大規模運動施設の再整備	平和島公園水泳場					継続
	萩中公園水泳場					継続
	大田スタジアム					
平和の森公園スポーツ施設整備						
調布地区体育館の整備						継続

新スポーツ健康ゾーンの整備 (再掲2-2-2)